

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#09 文字列とポインタ 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次 龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 10</p>	<p>manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル名は指定の通りにすること ■ ファイル形式は指定の通りにすること ■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく) <p>2 / 10</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの) ■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど) <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など) ■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと. ■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像) <p>考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: テキストファイル (.txt) ■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと. ■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明 ■ (不可: Word や PDF など) ■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない) <p>3 / 10</p>
	実習 A	実習 B
<p>実習</p> <p>4 / 10</p>	<p>p.308, List 11-4 (文字列の配列) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j09a.c (C 言語ソースコード) ■ j09a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j09a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>5 / 10</p>	<p>p.310, List 11-5 (文字列の長さ) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j09b.c (C 言語ソースコード) ■ j09b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j09b.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>6 / 10</p>

	課題	課題 (説明のつづき)
課題	<div>p.325, 演習 11-11 文字列 str 内のすべての数字文字を削除する関数を作成せよ。添字演算子 [] を利用せずに実現すること。</div> <div>■ main 関数も作成して動作確認</div> <div><pre>kakugawa@tcm700:~/pg3\$ cc p-11-08.c kakugawa@tcm700:~/pg3\$./a.out AB1C9 -> ABC You have 256 Mails. -> You have Mails. Failed 1024 times -> Failed times pi=3.141592, e=2.718 -> pi=., e=. kakugawa@tcm700:~/pg3\$</pre></div>	<div>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</div> <div><ul style="list-style-type: none">■ k09a.c (C 言語ソースコード)■ k09a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)■ k09a.txt (説明と考察 400 文字以上),</div> <div>ヒント: ソースファイルの超大雑把な構造</div> <div><pre>ヘッダをインクルード void del_digit(char *str) { ここを書く } int main(void) { char s1[] = "AB1C9"; char s2[] = "You have 256 Mails."; char s3[] = "Failed 1024 times"; char s4[] = "pi=3.141592, e=2.718"; 上記 s1, s2, s3, s4 それぞれに対して動作テストするコードを書く (追加の動作テスト用コードを加えても良い) return 0; }</pre></div>
おわり		